



レッドプラネットのマニラで最新のホテルが予約受付開始

即時リリース

2017年11月16日

マニラレッドプラネットホテルズは、2017年11月15日に、レッドプラネットマニラベイが2017年12月15日以降の予約の受付を開始したことを発表しました。

レッドプラネットマニラベイは、150の客室を有し、ニノイ・アキノ国際空港にほど近いエルミタ地区、米国大使館向かいの便利な場所のホテルとなります。当ホテルは、旧マニラとイントラムロスに加え、有名なマニラベイの夕日の観光を目指して急増するマニラのインバウンド観光客に適した場所に位置しています。また、いくつかの政府機関、企業のオフィスにも近接しています。

このホテルは、最新のレッドプラネットホテルズ基準の設備を備えており、明るくモダンで革新的デザインのロビーには、宿泊客が無料で使えるアップルコンピュータステーション、ホテル周辺の有用な情報が一覧できる「インフォウォール」や、自分の姿を撮りソーシャルメディアですぐに共有できる「フォトミー」スクリーンが提供されています。

12月半ばのレッドプラネットマニラベイの開業により、レッドプラネットグループがフィリピンで運営するホテルは、メトロマニラ地区の7ホテルを含む11ホテルとなります。レッドプラネットブランドの持続的な拡大は、フィリピンで最大かつ最も高成長のホテルチェーンとしてのレッドプラネットの地位を固めるものです。レッドプラネットは、2018年2月に2つのホテルがマニラに開業することで、その数を更に増やすこととなります。

レッドプラネットのCEO ティム・ハンシングは、当ホテルの新規開業に際し、「フィリピン国内及び海外からの旅行者は驚異的に増加しています。フィリピンで11番目となるホテルの開業は、フィリピンのバリューホテルのリーダーとしてのレッドプラネットホテルの地位を固めることとなります」とコメントしました。

レッドプラネットは、快適さ、利便性、及びスタイルに重点を置いて、現在、そのすべてを手頃な価格で提供する26のホテルを4か国に所有し運営しています。レッドプラネットは、テクノロジーに精通したバリューホテル・チェーンとしてクラス最高水準のアプリ開発を続けていきます。活発に利用されているこのモバイルアプリは、独自の「In-Stay モード」によりお客様のエクスペリエンスを一新しました。その利用により、宿泊客はホテルのフロントデスクとの直接のチャット、ローカルアトラクション情報の検索、及びUber 又は Grab サービスのオーダーが可能となります。さらに、このモバイルアプリを利用してレッドプラネット近くの200軒以上のレストランの割引価格での利用が可能です。



本件の詳細又は高解像度写真については、下記までご連絡ください。

Aline Massart

Vice President Marketing

Red Planet Hotels

Tel: 66 2 613 5818

Mobile: 66 80 463 2570

E-mail: press@redplanethotels.com

レッドプラネットのホテルについて

レッドプラネットホテルズは、2010年に設立され、アジアの拡大するバジェットホテルセクターに重点を置いた非上場の地域ホテル会社です。同社はインドネシア（7）、日本（4）、フィリピン（10）、タイ（5）に26のホテル、合計4,175の客室を所有、運営しています。さらに、2018年と2019年に、2,220の客室からなるホテル11か所を、日本、タイ、及びフィリピンで開業予定です。これらのホテルは、レッドプラネットの堅牢でスケーラブルなテクノロジープラットフォームを使用して開設され、先進的な予約ソフトウェアによる迅速・効率的な予約プロセスと顧客のための現地アトラクションガイドを提供します。レッドプラネットのホテルはスタイリッシュなバジェットホテル設備により構成され、全ホテルが中心部に位置し高速Wi-Fiを備えています。ジャカルタにおける子会社（レッドプラネット Indonesia - PSKT : IJ）及び東京における子会社（レッドプラネット Japan - 3350 : JP）は、それぞれインドネシア及び日本の証券取引所に上場しています。